



オーストラリアの人事戦略で成功する為には その28

オーストラリアやアメリカの様な新しい国々、つまり白人のアングロサクソンらが新しく作った国々のカルチャーは英国本国と比べて多少異なった文化を持っているようです。アメリカの場合英雄待望国であり、常に国民が英雄を求めております。

良い例として、アメリカではスーパーマンや最近ではスパイダーマンのような映画が、大好評です。つまり、人間を超越したスーパーマン的英雄を求めています。日本でも一時ウルトラマンが流行りましたが、スーパーマンやスパイダーマンはウルトラマンとは異なり恋物語が描かれています。これらの英雄は一時は恋に落ちますが、自分自身の社会使命にめざめ自分自身を犠牲にしてでも社会正義の為に戦います。

アメリカやオーストラリアの場合、歴史が浅い為英国本国とは異なり人々が自由に生活をしてる為、法律、秩序がなかなか守られない特徴があります。したがって、英国では警察官は拳銃を所持していないのに対し、オーストラリアでは常時拳銃を所持しております。アメリカにいたっては、なんとショットガンまで常時所持しております。なぜならば、銃が無い限り法や秩序が守られないからであります。

バージニア工科大学で大量の学生や教員が殺害されたにもかかわらず、アメリカでは銃を規制する法律を作ろうとする動きはありません。

スーパーマンやスパイダーマンのように強いリーダーとは、社会正義の為に自分自身を犠牲にする事により国民の心を訴え、国民は指導者に従い、初めて国民が法や秩序を守るよう改心するのであります。

オーストラリアでは、警察官はショットガンを所持しておりません。つまりアメリカ人より遵法する国民であります。しかし、このような国は基本的に個人主義であり、人々は個々の利益を最優先するのであります。個人主義を超越し会社全体に奉仕するためには、それを導く強いリーダーが必要であります。

一般的に社員は自分の利益を優先するので、会社全体の利益はなかなか得られないのが現状であります。社員が自分の利己を超越し、会社全体の利益の為に尽くすためには、やはり社内の中で スパイダーマンやスーパーマンの様な個人の利益を超越したリーダーが必要となります。社長、管理職は絶対に社員に対し、自分の利益を優先するような姿を見せてはなりません。自己の利益を無視し、会社全体の利益の為に自分自身を犠牲にしている姿を社員に見せる必要があります。